



2023年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年12月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社クスリのアオキホールディングス

コード番号 3549 URL <http://www.kusuri-aoki-hd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木宏憲

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門担当兼経理室長 (氏名) 八幡亮一

TEL 076-274-6115

四半期報告書提出予定日 2022年12月28日

配当支払開始予定日 2023年1月26日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2023年5月期第2四半期の連結業績（2022年5月21日～2022年11月20日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期第2四半期	184,281	14.3	8,278	21.6	11,255	57.7	7,924	68.8
2022年5月期第2四半期	161,192	—	6,805	—	7,137	—	4,694	—

（注）包括利益 2023年5月期第2四半期 7,990百万円（71.6%） 2022年5月期第2四半期 4,656百万円（—%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年5月期第2四半期	251.31	—
2022年5月期第2四半期	148.89	—

（注）1. 2022年5月期第2四半期の各数値については、会計方針の変更を適用した後の数値となっております。このため対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年5月期第2四半期	252,220	94,467	37.4
2022年5月期	234,201	86,930	37.1

（参考）自己資本 2023年5月期第2四半期 94,414百万円 2022年5月期 86,834百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年5月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2023年5月期	—	14.50	—	—	—
2023年5月期（予想）	—	—	—	14.50	29.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年5月期の連結業績予想（2022年5月21日～2023年5月20日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	360,000	9.6	15,200	8.0	16,000	1.4	10,800	9.8	342.51

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年5月期2Q	31,532,560株	2022年5月期	31,532,560株
② 期末自己株式数	2023年5月期2Q	462株	2022年5月期	462株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年5月期2Q	31,532,098株	2022年5月期2Q	31,532,287株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年5月21日～2022年11月20日)のわが国の経済情勢は、コロナ禍からの経済社会活動の正常化が進むなか、ウクライナ問題に端を発する世界的な資源価格の高騰と円安による原材料価格の上昇等に直面しております。こうした資源高や円安に起因する光熱費の高騰のほか、食品やサービスの値上がりなど着実にインフレの裾野が広がっており、依然として先行き不透明な状況は継続すると想定されます。

ドラッグストア業界におきましては、物価上昇やコロナ禍による需要動向の変化に加え、異業種を含む競合他社との熾烈な出店競争や価格競争、さらには業界上位企業による経営統合やM&Aによる規模拡大等、経営環境は一層厳しさを増しております。

当社グループでは、このような環境のもと各種感染拡大の予防対策を徹底し、お客様が安心して来店できる店舗づくりに注力いたしました。また、新型コロナウイルス感染症の感染不安を感じる地域の皆様に向けて、PCR・抗原検査キットの無料検査事業に参加いたしました。引き続き、地域のかかりつけ薬局として調剤併設率の向上を図るとともに、既存店の改装を中心に生鮮食品等の品揃え強化を行うことで「フード&ドラッグ」を実現し、お客様により一層、利便性を提供できるよう努めてまいります。

店舗の新設につきましては、ドラッグストアを北信越に15店舗、東北に10店舗、関東に4店舗、東海に10店舗、関西に10店舗の合計49店舗の出店を行い、さらなるドミナント化を推進いたしました。

また、ドラッグストア併設調剤薬局を北信越に14薬局、東北に8薬局、関東に11薬局、東海に8薬局、関西に9薬局の合計50薬局を新規に開設いたしました。一方、ドラッグストア8店舗を閉店いたしました。

これにより当第2四半期連結会計期間末の当社グループの店舗数は、ドラッグストア860店舗(うち調剤薬局併設510店舗)、調剤専門薬局6店舗、スーパーマーケット1店舗の合計867店舗となっております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,842億81百万円(前年同期比14.3%増)、営業利益82億78百万円(同21.6%増)、経常利益112億55百万円(同57.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益79億24百万円(同68.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は2,522億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ180億19百万円増加いたしました。主な増加要因は、現金及び預金の増加49億59百万円、商品の増加33億65百万円、新規出店等による建物及び構築物の増加89億98百万円によるものであります。

負債合計は、1,577億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ104億82百万円増加いたしました。主な増加要因は、支払手形及び買掛金の増加90億22百万円によるものであります。

純資産合計は944億67百万円となり、前連結会計年度に比べ75億37百万円増加いたしました。また、自己資本比率は37.4%となっております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の四半期末残高は49億59百万円増加し、313億7百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、180億66百万円の資金増加となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益109億93百万円、仕入債務の増加90億22百万円、減価償却費50億3百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、101億76百万円の資金減少となりました。主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出97億47百万円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、29億30百万円の資金減少となりました。主な減少要因は、長期借入金の返済による支出50億22百万円、リース債務の返済による支出9億98百万円、配当金の支払4億10百万円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績は、2022年12月28日に公表いたしました「2023年5月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」に記載のとおり、2022年7月4日に公表した業績予想より差異が発生しております。

なお、通期業績予想は2022年7月4日に公表した数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年5月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年11月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,348	31,307
売掛金	6,979	9,096
商品	39,673	43,039
未収入金	12,852	13,478
その他	694	1,039
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	86,547	97,960
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	101,717	110,716
土地	4,966	4,769
リース資産（純額）	7,619	8,297
建設仮勘定	8,143	3,444
その他（純額）	3,958	5,354
有形固定資産合計	126,404	132,581
無形固定資産		
のれん	2,006	1,885
その他	2,068	2,314
無形固定資産合計	4,075	4,199
投資その他の資産		
敷金及び保証金	7,745	7,803
繰延税金資産	3,239	3,462
その他	6,264	6,287
貸倒引当金	△75	△75
投資その他の資産合計	17,173	17,478
固定資産合計	147,653	154,260
資産合計	234,201	252,220

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年5月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年11月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,701	50,723
1年内返済予定の長期借入金	9,742	9,900
未払法人税等	3,440	3,845
賞与引当金	1,108	991
ポイント引当金	51	33
契約負債	2,348	2,301
未払金	9,778	10,205
その他	4,610	5,896
流動負債合計	72,781	83,898
固定負債		
長期借入金	59,907	58,227
リース債務	6,447	6,992
役員退職慰労引当金	235	245
退職給付に係る負債	3	3
資産除去債務	7,705	8,195
その他	189	190
固定負債合計	74,489	73,855
負債合計	147,270	157,753
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,167	1,167
資本剰余金	2,175	2,175
利益剰余金	83,675	91,189
自己株式	△3	△3
株主資本合計	87,015	94,529
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△180	△114
その他の包括利益累計額合計	△180	△114
新株予約権	96	52
純資産合計	86,930	94,467
負債純資産合計	234,201	252,220

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年5月21日 至 2021年11月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年5月21日 至 2022年11月20日)
売上高	161,192	184,281
売上原価	117,381	132,355
売上総利益	43,810	51,925
販売費及び一般管理費	37,004	43,647
営業利益	6,805	8,278
営業外収益		
受取利息	25	22
受取配当金	33	34
受取手数料	107	120
賃貸収入	82	97
補助金収入	2	2,686
固定資産受贈益	28	13
その他	167	186
営業外収益合計	448	3,161
営業外費用		
支払利息	70	115
賃貸収入原価	30	30
その他	15	38
営業外費用合計	116	184
経常利益	7,137	11,255
特別利益		
投資有価証券売却益	12	0
固定資産売却益	2	15
新株予約権戻入益	2	43
特別利益合計	17	59
特別損失		
固定資産売却損	19	19
固定資産除却損	83	0
減損損失	—	295
投資有価証券評価損	23	—
その他	32	5
特別損失合計	159	320
税金等調整前四半期純利益	6,995	10,993
法人税、住民税及び事業税	2,666	3,322
法人税等調整額	△366	△252
法人税等合計	2,300	3,069
四半期純利益	4,694	7,924
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,694	7,924

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年5月21日 至 2021年11月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年5月21日 至 2022年11月20日)
四半期純利益	4,694	7,924
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38	66
その他の包括利益合計	△38	66
四半期包括利益	4,656	7,990
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,656	7,990
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年5月21日 至 2021年11月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年5月21日 至 2022年11月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,995	10,993
減価償却費	4,125	5,003
のれん償却額	108	121
減損損失	—	295
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△862	△116
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	0
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△74	9
契約負債の増減 (△は減少)	2,319	△46
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△2,716	△17
固定資産除却損	83	0
固定資産売却損	19	19
固定資産売却益	△2	△15
新株予約権戻入益	△2	△43
受取利息及び受取配当金	△59	△56
支払利息	70	115
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,760	△2,116
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△894	△3,365
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,688	9,022
その他	2,333	1,344
小計	13,372	21,147
利息及び配当金の受取額	34	34
利息の支払額	△55	△115
法人税等の支払額	△2,359	△2,999
法人税等の還付額	0	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,992	18,066
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11,883	△9,747
有形固定資産の売却による収入	12	107
無形固定資産の取得による支出	△272	△350
敷金及び保証金の差入による支出	△348	△132
敷金及び保証金の回収による収入	146	56
長期貸付けによる支出	△34	△35
長期貸付金の回収による収入	3	28
建設協力金の支払による支出	△243	△77
合併による収入	4	—
吸収分割による支出	△422	—
その他	△28	△25
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,065	△10,176
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	12,000	3,500
長期借入金の返済による支出	△4,095	△5,022
リース債務の返済による支出	△678	△998
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△370	△410
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,854	△2,930
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,781	4,959
現金及び現金同等物の期首残高	15,734	26,348
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,516	31,307

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結納税制度から単体納税制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社及び一部の連結子会社は、当連結会計年度から単体納税制度へ移行しております。そのため、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号 2021年8月12日）第33項及び第69項の取扱いにより、当連結会計年度から単体納税制度を適用するものとして、前連結会計年度末以降の繰延税金資産及び繰延税金負債の額を計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは医薬品・化粧品・日用雑貨・食品、調剤薬局等の近隣型小売事業という単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. 補足情報

当社グループは、医薬品・化粧品・日用雑貨・食品、調剤薬局等の近隣型小売事業という単一セグメントであるため、仕入実績は商品部門別に、販売実績は商品部門別及び地域別に記載しております。

① 仕入実績

当第2四半期連結会計期間及び当第2四半期連結累計期間の仕入実績を商品部門別に示すと、次のとおりであります。

区分	当第2四半期連結会計期間 (自 2022年8月21日 至 2022年11月20日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2022年5月21日 至 2022年11月20日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
ヘルス	7,812	11.3	14,337	10.5
ビューティ	9,180	13.3	17,680	12.9
ライフ	13,665	19.8	27,962	20.4
フード	32,108	46.5	64,990	47.5
調剤	6,233	9.1	11,940	8.7
合計	69,000	100.0	136,912	100.0

(注) 1. 上記の金額は、物流益等(店舗への直送受託収入から直送委託費用を控除した物流益及び発注にかかるデータ収入)を控除していません。

2. ヘルス、ビューティ、ライフ、調剤の主な取扱品目は以下のとおりであります。

ヘルス … 医薬品、ビタミンサプリメントやダイエットサプリメント等の健康食品、救急用品や健康管理用品等の医療用品

ビューティ… カウンセリング化粧品、洗顔料等のフェイスクア商品、ボディソープ等のボディケア商品、シャンプー等のヘアケア商品、歯磨等のオーラルケア商品

ライフ … オムツ等のベビー関連商品、介護用品、生理用品、洗剤、家庭用品、ペットフード、靴下や肌着等の衣料用品、家電用品

フード … 加工食品、日配食品、生鮮食品、調味料、菓子、飲料、酒等の食品

調剤 … 薬局にて処方する医療用医薬品

② 販売実績

当第2四半期連結会計期間及び当第2四半期連結累計期間の販売実績を商品部門別に示すと、次のとおりであります。

区分	当第2四半期連結会計期間 (自 2022年8月21日 至 2022年11月20日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2022年5月21日 至 2022年11月20日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
ヘルス	9,661	10.4	19,380	10.5
ビューティ	12,810	13.9	26,130	14.2
ライフ	18,442	19.9	37,351	20.3
フード	40,981	44.3	80,498	43.7
調剤	10,619	11.5	20,921	11.3
合計	92,515	100.0	184,281	100.0

③ 地域別販売実績

当第2四半期連結会計期間及び当第2四半期連結累計期間の販売実績を地域別に示すと、次のとおりであります。

区分	店舗数 (店)	当第2四半期連結会計期間 (自 2022年8月21日 至 2022年11月20日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2022年5月21日 至 2022年11月20日)	
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
北信越	345	43,820	47.4	87,722	47.6
東北	57	5,882	6.4	11,370	6.2
関東	239	22,092	23.9	44,518	24.1
東海	157	14,388	15.5	28,191	15.3
関西	69	6,330	6.8	12,478	6.8
合計	867	92,515	100.0	184,281	100.0

(注) 店舗数は当第2四半期連結会計期間末現在のものです。